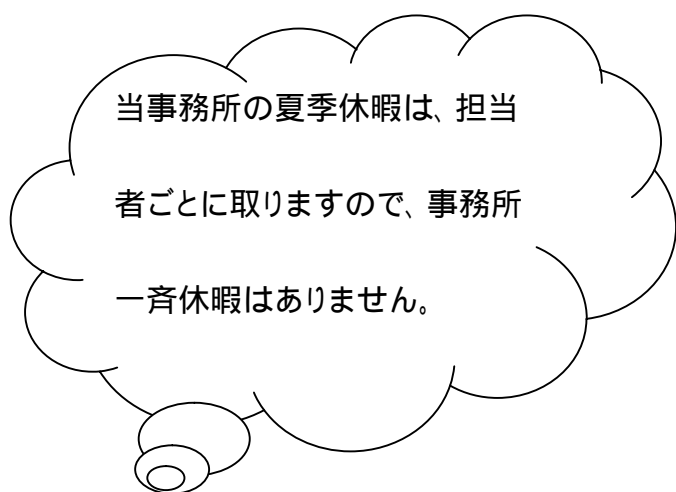


今月のお知らせ



第 2 7 0 号
平成 2 8 年 8 月 1 日
税 理 士 法 人 大 嶋 会 計
公 認 会 計 士 ・ 税 理 士
大 嶋 良 弘
T E L 0 4 3 - 2 4 1 - 6 1 2 1
F A X 0 4 3 - 2 4 3 - 3 4 3 0
U R L <http://www.osmk-ohb.co.jp>
E - Mail yohshima@osmk-ohb.co.jp

7月28日に、関東もやっと梅雨が明けました。

平年に比べ7日遅く、昨年に比べ18日遅い梅雨明けです。

7月31日には東京都知事選挙があり、非組織の小池さんが圧倒する形で勝利しました。

都知事就任後のあいさつ回りでの責任者不在で対応した都議会自民党、都知事との記念写真を拒否した都議会議長の子供じみた対応は、みっともなく思います。

今後の知事と議会の不毛な時間交渉が予見できますが、どのように展開するかを注視していきます。都議会を敵に回した論陣で勝ち抜いてきましたので、ある程度の混乱はあるでしょう。

スウェーデンの国家予算約14兆円に匹敵する自治体の運営は、一人舞台でできるものではないはずで。

参謀、片腕等のチームづくりも注目しています。

.....

4月2日(土)にお客様の会社で講演しました。

その要約を掲載します。ご参考になればありがたいです。

「なぜ、経営計画書を作成するのか」(その4、最終)

1. 多くの中小企業の経営者の悩み(その1 掲載)
2. 社長が幹部に抱く不満(その1 掲載)
3. 二つの要素を兼ね備えた幹部社員が少ない要因(その2 掲載)
4. イエスマンにならない(その2 掲載)
5. 経営幹部が備える「数字力」(その3 前号掲載)
6. 幹部社員に求められる条件(その3 前号掲載)
7. 部下が求める幹部社員の要件(その3 前号掲載)
8. 大企業はどうしているか

自動車のスズキの会長 鈴木修氏は 1930 年 1 月の生まれで 86 歳で現場を取り仕切っている。

ウィキペディアによるとその人物像は、

岐阜県益田郡下呂町（現在の下呂市）生まれ。旧姓は松田。1953 年3 月中央大学法学部法律学科卒業。中央相互銀行（現在の愛知銀行）入社。

1958 年にスズキの 2 代目社長の鈴木俊三の娘婿となる。同年 4 月にスズキ入社。

1963 年11 月に同社取締役就任。1967 年12 月に同社常務取締役。1973 年11 月に同社専務取締役。1978 年6 月に同社代表取締役社長に就任。2000 年6 月から代表取締役会長（CEO）を務める。2008 年12 月から代表取締役会長兼社長(CEO&COO)を務める。2015 年6 月から代表取締役会長（CEO）を務める。

長年（社長就任から 38 年）トップに立ち会社を引っ張ってきている。

日本経済新聞 2016 年 3 月 28 日朝刊「ニュース一言」に次のように掲載されている。

「縦割りや長年のトップダウンに慣れてしまって指示待ちが多い。社内に横串を刺し「チームスズキ」として活動できるように企業風土を変えていかなければいけない」

スズキの鈴木俊宏社長は、2015年6月の就任以降、実父である鈴木修会長の後継体制固めへ、組織改革を急ぐ。

部課長クラスとの昼食会などの意見交換も増やした。

「やるべき課題に取り組んでコツコツと変えていくしかない」と日々頭をひねっている。

9. 経営指針書の重要性

会社の経営方針、行動基準、実施計画、それらを数字で表現した書類が、経営指針書だ。

この指針書作成過程で、
経営者の考えを確認し、
経営幹部が実行に移すための指針を作成し、
部下が具体的方策を考え、同じ方向を向き、さまざまな事態に自律的に対処できることになる。

この経営指針書が、中小企業にみられるオーナー経営の弱点を克服し、社員と経営者の顔が見える協同(力と心を合わせて事にあたる)が可能となり、経営発展の原点となる。
(終了)

以上